


専門研修「中堅保健師」

【日 時】	令和3年7月1日(木)、20日(火) 9:00~17:00
【会 場】	特別区職員研修所
【受講者数】	36名
【講 師】	<ul style="list-style-type: none"> ・東京医科大学 医学部 看護学科 教授 鈴木 良美 氏 ・武蔵野大学 看護学部 看護学科 教授 中板 育美 氏 ・社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 地域ささえあいセンター センター長 澤登 久雄 氏 ・横須賀市保健所 職員
【研修内容】	<p><目的></p> <p>住民主体の地域コミュニティづくりに向けて、中堅保健師に求められる住民視点で地域全体を捉えた政策提案能力・計画策定能力、組織横断的な調整・交渉力及び保健活動における事業企画や政策提案等に関する指導・助言等の実践能力の向上を図る。</p> <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域診断から施策化へ（講義・演習） ② 中堅保健師に求められること（講義・演習） ③ 住民主体の地域コミュニティづくり（講義・演習） ④ 他職種との連携における保健師の役割（講義・演習） <div style="text-align: center;"> <p><演習の様子></p>  </div>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・他区の保健師との情報交換の時間は、有意義でした。研修の機会も少ないため、講師の方からの情報も勉強になりました。 ・保健師とは？という原点に戻りながら、個別の支援・地域の支援、組織での役割の果たし方を学ぶことが出来ました。改めて地域を支援すること、つながることを学びました。 ・今後、個別支援で得た経験を個別の話で終わらせないように行政保健師という立場を再認識して施策化まで考えられる力をつけていきたいと思いました。 ・中堅保健師として必要なスキル、役割について講義で学ぶことが出来ました。地域の課題についてもグループで意見交換し、施策化について検討出来より深く地域に向き合うことが出来たと思います。